

## 人を、地域を、‘うごかし’‘つくって’‘みせる’を科学する

当研究室では、現在5名の大学院生が、それぞれの研究テーマに取り組んでいます。保健・医療・福祉政策システムにかかわる様々なテーマです。行政、医療機関、会社、大学で勤務しながら、その中で得られた研究テーマを大切に、大学院での講義、演習によって研究を進めていく上での方法を学び研究を‘形’にしていきます。研究によって、現場の様々な疑問や健康課題解決に向けてのヒントが生まれます。

### 主な研究テーマ

- 地域における生活習慣病予防対策に関する研究
- 地域の子育て環境と施策に関する研究
- 地域の包括ケアシステムに関する研究
- 地域保健活動の評価に関する研究

### 主な担当講義科目

- ヘルスプロモーション特論
- ヘルスプロモーション演習
- 地域保健学演習
- 保健・医療・福祉学研究特論

## 研究紹介

青森県内各地をフィールドとして、主に生活習慣病予防をテーマに親子のかかわりのなかから、子ども頃からのよい生活習慣の確立と行政施策につながる支援方法を探っています。地域の人たちからたくさんの協力を得ながら、地域の人たちにより結果を還元できるように、研究に取り組んでいます。

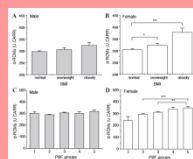
これまでの大学院生の研究としては、生活習慣病予防、ヘルスリテラシーに関する研究以外に社会参加活動に関する研究や組織のソーシャル・キャピタル、子育て環境など、いずれも地域での保健・医療・福祉に関する活動の中から浮かび上がる課題の解決への示唆を得るようなテーマが多いです。



子どもの生活習慣予防



子どもと社会参加活動



Obesity and ROS



親子関係と生活習慣

## 大学院進学を希望する方へ

日頃の地域保健活動の中で、事業の評価をどうしたらよいか、成果としてどのようにあらわしていったらよいか、また、もう一度勉強してみたい、もう少し深く調べてみたいと思っている方がいましたら、ご相談ください。本大学院では、公衆衛生・疫学の著名な先生方による贅沢な講義もたくさんあります。



## 大学院生の声

和気あいあいとした雰囲気とみなさんと助け合い、相談しながら研究をすすめることができます。みんなで頑張っていける、そんな研究室です。